

令和3年度

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

事業報告

(総括)

新型コロナウイルス感染症については、新たな変異株が出現し感染が再拡大するなど、令和3年度も依然として予断を許さない状況が続き、我が国の社会経済や国民生活は引き続き大きな影響を受けている。加えて、ロシアのウクライナ侵攻によりエネルギー価格や原材料価格の上昇等が懸念されるなど、先行きの不透明感が増している。

物流は、感染拡大時にあっても、エッセンシャルな公共サービスとして経済社会を支えてきた。業界全般では、Eコマース関連などを始め比較的好調な業種・業態も見られるが、新型コロナウイルスの感染拡大等のため、グローバルサプライチェーンの混乱が続いており、その安定化まではなお時間を要するものと思料される。

こうしたなか、物流連の事業活動は新型コロナウイルスの感染拡大等のため引き続き大きな影響を受けたが、一方で、各種会議や学生向けのイベントに Web を活用するなど、ウィズコロナの時代に適合した方法で様々な事業活動を進めてきた。

第一に、「物流を等身大で見てください、その重要性を認識していただく」活動として、会員企業のご協力のもと、Web も活用して、学生を対象としたインターンシップ・物流業界研究セミナー、大学寄附講座等を実施したが、Web の活用も相まって、多くの学生の参加を得ることができた。

第二に、「国際的な課題への取組み強化」については、海外物流戦略ワーキングチームにおいて、陸の ASEAN 諸国（タイ、ベトナム、ミャンマー等）を対象に、専門機関等の現地駐在員からのヒアリングなどを織り交ぜながら物流事情実態調査を行った。

第三に、「社会インフラとしての物流機能強化」の取組みでは、調査小委員会を立ち上げ、国と連携してパレット標準化の推進に向けた調査検討を行ったほか、ダイバーシティ推進ワーキングチームにおいて女性の活躍推進をテーマに調査検討を進めた。

第四に、「物流環境対策の取組み」については、環境負荷低減への取組みを奨励するため、物流環境大賞表彰やモーダルシフト取組み優良事業者表彰などを行ったほか、物流業界における低炭素・脱炭素化の取組みを推進するため、新たに情報交換会を立ち上げ、講演聴取、取組み事例等の発表・共有等を行った。

物流業界は、労働力不足の深刻化、カーボンニュートラルの要請等に対応して、働き方改革や、物流 DX、機械化・自動化等による物流効率化とその前提となる物流標準化の推進、モーダルシフトなど環境負荷低減のための取組み等が喫緊の課題となっている。また、事業の根幹である安全確保に留意しつつ、新型コロナウイルス等の感染症や自然災害など有事に適切に対応し、サプライチェーンを維持することも求められている。

物流連の活動の多くは、国土交通省の公共交通・物流政策審議官部門との緊密な連携のもと進めてきており、国の新たな総物流施策大綱の推進などを始め、官民連携の活動を更に強化することとしている。

令和3年度の活動について、次頁以降に具体的に取りまとめた。

目 次

I. 法人の状況に関する重要な事項	1 P
1. 業務活動の推進（委員会活動等）	1 P
（1）基本政策委員会関係	1 P
（2）人材育成・広報委員会関係	2 P
（3）国際業務委員会関係	7 P
（4）物流環境対策委員会関係	12 P
（5）経営効率化委員会関係	16 P
2. 公益目的支出計画による事業活動	22 P
実施事業<継続事業>に関する事業報告	22 P
3. 広報・情報提供・出版事業等の活動	23 P
（1）会員及び外部への情報提供等	23 P
（2）出版事業	26 P
（3）研修事業	26 P
（4）物流EDI事業	26 P
（5）サイバーセキュリティ関連	27 P
4. 総会・役員会の開催状況	27 P
（1）総会	27 P
（2）正副会長会議	27 P
（3）理事会	27 P
5. 会員の異動	29 P
II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等	29 P
III. 事業報告の付属明細書について	29 P

I. 法人の状況に関する重要な事項

1. 業務活動の推進（委員会活動等）

(1) 基本政策委員会関係

①第29回基本政策委員会

- ・開催日：令和3年9月28日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：67名（実参加：12名、オンライン参加：55名）
- ・講師：国土交通省総合政策局物流政策課長 高田公生氏
- ・テーマ：「最近の物流政策について」

第二部「委員会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室C
- ・出席者：14名
- ・議題：
 - a. 令和4年度物流関係予算案等について
 - b. 物流連の事業活動について
 - c. その他

委員会では、最初に、高田物流政策課長から、令和4年度物流関係予算要求等について説明があり、これを受けて各委員より活発な質疑応答があった。

続いて、事務局から、物流連の令和3年度上期の事業活動について、事業計画に基づく各委員会の活動状況等の報告が行われ、引き続き官民連携による課題解決に向けた取組みの重要性が確認された。

②第30回基本政策委員会

- ・開催日：令和4年3月22日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約100名（実参加：12名、オンライン参加：約90名）
- ・講師：流通経済大学流通情報学部教授 矢野裕児氏
- ・テーマ：「カーボンニュートラルとロジスティクス改革について」

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・出席者：13名
- ・議 題：
 - a. 最近の物流政策について
 - b. 物流連の令和4年度事業計画（案）について
 - c. その他

委員会では、最初に、高田物流政策課長から「最近の物流政策について」と題して、最近の物流を取り巻く状況、国土交通省の物流施策と取り組み状況等について説明があり、活発な意見交換が行われた。

続いて、事務局から、物流連の令和4年度事業計画案の説明が行われ、質疑応答の後承認された。

(2) 人材育成・広報委員会関係

①令和3年度第1回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和3年10月15日
- ・会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・出席者：17名（実参加：6名、オンライン参加：11名）
- ・議 題：
 - a. 令和3年度 上期活動報告
 - b. 「第8回物流業界インターンシップ東京」及び「第2回物流業界インターンシップ大阪」の活動報告
 - c. 令和3年度 下期活動計画

事務局から、上期活動報告として、物流業界インターンシップ、大学学内セミナー、高度物流人材シンポジウムの開催等について報告があり、意見交換が行われた。このうち、物流業界インターンシップについては、終了後のアンケート結果から、参加学生の物流業に対する理解が深まり、かつ、就職志望も強まった旨の説明があり、本事業を会員企業と共同で継続実施していく重要性が確認された。

続いて、事務局から、下期の活動として、物流業界研究セミナー、大学寄附講座等について説明が行われ、原案通り承認された。

②令和3年度第2回人材育成・広報委員会

- ・開催日：令和4年3月11日
- 委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：76名（実参加：6名、オンライン参加：70名）
- ・講 師：西日本旅客鉄道株式会社 常務技術理事 安全研究所所長 河合篤氏
- ・テーマ：「ヒューマンファクターの理解と安全性の向上」について

第二部「委員会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：18名（実参加：7名、オンライン参加：11名）
- ・議 題：
 - a. 令和3年度 年間活動報告
 - b. 「第8回物流業界研究セミナー東京」、「第4回物流業界研究セミナー大阪」及び「第2回物流業界研究Webセミナー」の活動報告
 - c. 令和4年度 年間活動計画

委員会では、年間活動報告として、上期の活動の他、「物流業界研究セミナー東京・大阪」、「物流業界研究Webセミナー」、「大学寄附講座」、「大学学内セミナー」の実施報告、会員の若手で構成する「物流いいとこみつけ隊」の活動状況等の報告が行われ、業界研究セミナーを継続して実施していくことの重要性が確認された。

続いて、事務局から令和4年度の活動計画案について説明があり了承された。

③「第8回物流業界インターンシップ 東京」及び「第2回物流業界インターンシップ 大阪」の開催

主に就職活動を控える学生に、物流業の社会的重要性や先進性などに対する理解を深め業界の魅力を感じてもらうことを目的として、毎年実施している。

初日の合同企業説明会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、各社のブース等にて会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等の企業情報の説明が行われ、学生に関心のある企業を訪問してもらったほか、物流連による講演会、業界の若手によるパネルディスカッション等を行った。

2日目以降は、学生の希望も踏まえ、各参加企業において学生の企業訪問（インターンシップ）を行った。また、企業訪問終了後に、インターンシップの総括として、オンラインによる振り返りのためのグループワーク等を実施した。

全体として、参加学生は約648名、参加企業数は26社2団体だった。

●合同説明会

【東京会場】

- ・開催日 令和3年9月6日
- ・会場 東京都立産業貿易センター 浜松町館
- ・参加学生数 191名

- ・参加企業数 14社2団体

【大阪会場】

- ・開催日 令和3年8月30日
- ・会場 ハービス HALL
- ・参加学生数 77名
- ・参加企業数 7社1団体

【WEB（東京・大阪共通）】

- ・開催日 令和3年8月25日
- ・参加学生数 約380名
- ・参加企業数 26社2団体

●学生による企業訪問（インターンシップ）

【東京】

- ・開催日 令和3年9月14日～9月16日
(計3日間の中から1人1～3社)
- ・会場 各参加企業が指定する事業拠点等、またはオンラインにて実施
- ・参加学生数 314名
- ・参加企業数 22社1団体（延べ受入数712名）

【大阪】

- ・開催日 令和3年9月7日～9月10日
(計4日間の中から1人1～4社)
- ・会場 各参加企業が指定する事業拠点等、またはオンラインにて実施
- ・参加学生数 115名
- ・参加企業数 12社1団体（延べ受入数295名）

●インターンシップ総括（まとめプログラム）

【WEB（東京・大阪共通）】

- ・開催日 令和3年9月17日
- ・会場 オンライン開催
- ・参加学生数 78名
- ・参加企業数 10社 ※物流いいとこみつけ隊メンバー参加

※参加企業等一覧（50音順）

SBSフレック(株) | NX商事(株) | 鴻池運輸(株) | (一社)国際フレイトフォワード
ーズ協会 | 佐川急便(株) | 佐川グローバルロジスティクス(株) | 山九(株) |
(株)商船三井 | 鈴与(株) | 西濃運輸(株) | セイノースーパーエクスプレス(株) |
センコー(株) | (公社)全国通運連盟 | 第一貨物(株) | トナミ運輸(株) |

ニチレイロジグループ本社(株) | (株)日新 | 日鉄物流(株) | 日本貨物鉄道(株) | 日本通運(株) | 日本郵船(株) | 日本郵便(株) | 日本ロジテム(株) | (株)日立物流 | 福山通運(株) | 丸運(株) | 丸全昭和運輸(株) | (株)ヤマタネ

④「第8回物流業界研究セミナー東京」、「第4回物流業界研究セミナー大阪」及び、「第2回物流業界研究 Web セミナー」の開催

就職活動を控える学生を対象として、物流業の業界研究の機会を提供するため、多様な業種の会員企業の参加を得て物流業界研究セミナーを開催した。

当日は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、各社のブース等にて会社概要や経営戦略、提供する物流サービス等の企業情報の説明が行われ、学生に関心のある企業を訪問してもらったほか、物流連による講演会、業界の若手によるパネルディスカッション等を行った。

全体として、参加学生は約812名、参加企業数は34社だった。

【第8回物流業界研究セミナー東京】

- ・開催日 令和4年2月5日
- ・会場 東京都立産業貿易センター 浜松町館
- ・参加学生数 151名
- ・参加企業数 22社

【第4回物流業界研究セミナー大阪】

- ・開催日 令和4年1月15日
- ・会場 ハービス HALL
- ・参加学生数 81名
- ・参加企業数 21社

【第2回物流業界研究 Web セミナー】

- ・開催日 令和4年1月29日、2月8日
- ・参加学生数 1月29日 約280名
2月 8日 約300名
- ・参加企業数 1月29日 29社
2月 8日 27社

※参加企業一覧（50音順）

SBSフレック(株) | NX商事(株) | F-LINE(株) | 花王ロジスティクス(株) | ケイヒン(株) | 鴻池運輸(株) | 佐川急便(株) | 佐川グローバルロジスティクス(株) | 山九(株) | 鈴与(株) | 西濃運輸(株) | セイノースーパーエクスプレス(株) | センコー(株) | 第一貨物(株) | 東陽倉庫(株) | 東洋埠頭(株) | トナミ運輸(株) | (株)日陸 | (株)ニチレイロジグループ本社 | (株)日新 | 日鉄物流(株) |

日本貨物鉄道(株) | 日本梱包運輸倉庫(株) | 日本通運(株) | 日本郵船(株) |
日本ロジテム(株) | (株)日立物流 | 福山通運(株) | 丸運(株) | 丸全昭和運輸(株) |
三井倉庫HD(株) | 三菱倉庫(株) | 安田倉庫(株) | ユーピーアール(株)

⑤「ロジスティクス PR グループ 2021～物流いいところみつけ隊」会合の開催

会員企業・団体の若手社員で構成する物流いいところみつけ隊の会合を計5回行い、インターンシップ・業界研究セミナーの準備、打合せ、意見交換等を行った。

- ・開催日：令和3年6月24日、7月29日、10月26日、12月7日、
令和4年3月24日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階会議室 ※オンライン併用

⑥大学寄附講座の実施

物流各界を代表するトップマネジメントがそれぞれの立場から物流事情を講義する大学寄附講座を、上期2校、下期1校で実施した。

上期は2校とも当初対面授業だったが、新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン開催となった。下期の横浜国立大学はオンラインにより実施した。

- ・青山学院大学 毎週月曜日（4月5日～7月19日）
登録学生 200名
- ・東京都立大学 毎週火曜日（4月6日～7月20日）
登録学生 170名
- ・横浜国立大学 毎週木曜日（10月7日～1月27日）
登録学生 50名

⑦大学学内セミナーへの講師派遣

各大学が学生の業界研究のために実施する「学内セミナー」に参加し、物流連による物流業界の現状と未来、求める人材像等についての講義を、以下の大学でオンラインにより実施した。

- ・成蹊大学 5月26日
- ・東京女子大学 6月17日
- ・杏林大学 10月7日
- ・敬愛大学 11月19日

⑧高度物流人材シンポジウムの開催

幅広い高度人材の物流分野への参入を促進するため、今後の物流業界の可能性を提示し、高度人材に求められる能力を明らかにするためのシンポジウムを国土交通省及び経済産業省と共催で開催した。

- ・開催日：令和3年4月27日
- ・会場：オンライン開催
- ・参加者：約600名

- ・基調講演：「物流を取り巻く動向と高度物流人材育成の現状」
国土交通省公共交通・物流政策審議官 久保田 雅晴氏
- ・講演： 有識者3名による講演
- ・パネルディスカッション：
「物流クライシスを乗り越えるDX時代の高度物流人材像」
東京大学教授 西成 活裕氏 他有識者5名

⑨活躍する女性の紹介

物流業界における女性の活躍状況を広く社会に発信するため、各企業で活躍する女性社員にインタビュー形式で話を伺い、業務の内容や物流業でのやりがい、今後の抱負等を取りまとめ、会報や物流連のホームページで紹介した。

- ・丸運(株) 会報96号(6月発行)及びホームページ
- ・(株)日立物流 会報97号(9月発行)及びホームページ
- ・センコー(株) 会報98号(12月発行)及びホームページ
- ・セイノースーパーエクスプレス(株) 会報99号(3月発行)及びホームページ

⑩中学生職場体験の受け入れ

従前から積極的に受け入れを行っており、本年度の実績は以下の通りである。

- ・東京都立白鷗高等学校附属中学校 2名
- ・新宿区立牛込第3中学校 2名

⑪物流見学ネットワーク及び物流学習の受け入れ

若い世代への物流業の認知度向上を目指して実施してきたが、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見合わせた。

(3) 国際業務委員会関係

① 令和3年度第1回国際業務委員会

- ・開催日：令和3年10月8日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：40名(実参加：20名、オンライン参加：20名)
- ・講 師：公益財団法人中東調査会 研究員 青木 健太氏
- ・テーマ：「アフガニスタンの現状と今後の世界経済へ与える影響」について

第二部「委員会」

- ・ 会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・ 出席者：40 名（実参加：20 名、オンライン参加：20 名）
- ・ 議 題：
 - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
 - b. 令和3年度上期活動報告について
 - c. 令和3年度下期活動計画（案）について

委員会では、最初に、国土交通省大臣官房 大坪参事官(国際物流)から、最近の国土交通省の国際物流政策の取組みと今後の予定について説明が行われた。

その後、事務局から令和3年度上期の活動報告及び下期の活動計画(案)について説明が行われた。下期は、引き続き、Webを活用し主に陸のアセアン諸国を対象として専門機関等の海外駐在員からのヒアリング調査を行う等の説明が行われ、活動計画案は原案通り承認された。

② 令和3年度第2回国際業務委員会

- ・ 開催日：令和4年3月18日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部「講演会」

- ・ 会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・ 出席者：42 名（実参加：16 名、オンライン参加：26 名）
- ・ 講 師：東京大学 川崎 智也 氏
- ・ テーマ：「グローバル・バリュー・チェーンから日本の貿易と港湾政策を考える」

第二部「委員会」

- ・ 会 場：全日通霞が関ビル 8 階大会議室
- ・ 出席者：42 名（実参加：16 名、オンライン参加：26 名）
- ・ 議 題：
 - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて（国土交通省）
 - b. 令和3年度活動報告について
 - c. 令和4年度活動計画(案)について

委員会では、国土交通省大臣官房 大坪参事官(国際物流)から、最近の国土交通省の国際物流政策の取組み等について説明が行われた。

続いて、事務局から令和3年度の活動報告及び令和4年度の活動計画(案)について説明が行われた。令和4年度は、バングラデシュを対象国として海外物流事情実態調査を実施すること、コールドチェーン物流サービス規格の普及の取組みに引き

続き参画すること等の説明が行われ、令和4年度活動計画案は原案通り承認された。

③ 海外物流戦略ワーキングチームの活動

国際業務委員会では、国土交通省幹部を交えたワーキングチームを結成し、海外において我が国の物流事業者がどのような問題を抱え、どのような要望を持っているか等を把握し、一企業を越える横断的問題について検討を行うため、ワーキングチームを定期的で開催している。

今年度もコロナ禍のため現地調査は取り止め、ウェブを活用して海外物流実態調査を実施した。ワーキングチーム会合の前に、現地の日系企業やジェトロ等の専門機関の現地職員等とワーキングチーム構成員有志をオンラインで結び、懇談会形式で、物流実態と課題、物流事業者が抱える問題点、要望等のヒアリングを実施し、ワーキングチーム会合に報告する形で調査を進め、取りまとめを行った。

* 第1回ワーキングチーム会合

・開催日：令和3年5月27日

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：39名（実参加：23名、オンライン参加：16名）
- ・講師：国際機関 日本アセアンセンター 貿易投資クラスター 石田 靖氏
- ・テーマ：「コロナ後のASEAN展望」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：39名（実参加：23名、オンライン参加：16名）
- ・議題：
 - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
 - b. 海外物流戦略WTの活動について（事務局）
 - ・海外物流実態ヒアリング調査結果報告（第1回）

* 第2回ワーキングチーム会合

・開催日：令和3年7月27日

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：50名（実参加：19名、オンライン参加：31名）
- ・講師：独立行政法人日本貿易振興機構 お客様サポート部 貿易投資相談課 石川 雅啓氏
- ・テーマ：「ASEAN地域（陸のASEAN諸国中心）におけるコロナ禍の通関・貿易取引トラブル事例」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：50名（実参加：19名、オンライン参加：31名）
- ・議題：
 - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
 - b. 海外物流戦略WTの活動について（事務局）
 - ・海外物流実態ヒアリング調査結果報告（第2回）

* 第3回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和3年9月29日

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：41名（実参加：18名、オンライン参加：23名）
- ・講 師：独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部 アジア太平洋課
北嶋 誠士氏
- ・テーマ：「ベトナムにおける外国直接投資の動向と今後の投資環境」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：41名（実参加：18名、オンライン参加：23名）
- ・議 題：
 - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
 - b. 海外物流戦略WTの活動について（事務局）
 - ・海外物流実態ヒアリング調査結果報告（第3回）

* 第4回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和3年12月10日

第一部「講演会」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：40名（実参加：23名、オンライン参加：17名）
- ・講 師：一般社団法人日本ミャンマー協会 宮野 弘之 氏
- ・テーマ：「ミャンマー情勢 現状と見通し」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：40名（実参加：23名、オンライン参加：17名）
- ・議 題：
 - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)

- b. 海外物流戦略 WT の活動について（事務局）
 - ・海外物流実態ヒアリング調査結果報告（第4回）

* 第5回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和4年2月24日

第一部「講演会」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：39名（実参加：16名、オンライン参加：23名）
- ・講師：独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部 アジア太平洋課
山城 武伸 氏
- ・テーマ：「2021年度海外進出日系企業実態調査」

第二部「ワーキングチーム会合」

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：39名（実参加：16名、オンライン参加：23名）
- ・議題：
 - a. 最近の国土交通省の国際物流政策の取組み(国土交通省)
 - b. 海外物流戦略 WT の活動について（事務局）
 - ・令和3年度活動報告について
 - ・令和4年度活動計画(案)について

④ コールドチェーン物流サービスの規格等の普及に向けた取り組み

日本主導のコールドチェーン物流サービス規格である I S O国際規格 (BtoC) と日本規格協会規格 (BtoB) が、それぞれ令和2年5月と6月に発行され、これを受けて、両規格の普及等に向けた取り組みが官民連携して進められている。

今般、日本からの提案により ISO に新たな技術委員会が設置され、令和3年6月に同委員会の第1回総会、令和4年2月に第2回総会が開催された。その後、同委員会関係の会合が頻繁に開催されており、また、これに対応して、国内的には国内審議委員会及び戦略委員会が開催されている。

物流連はこれらの委員会等に構成員として参画しており、引き続き、関係者と連携して、コールドチェーン物流規格の普及等に取り組むこととしている。

⑤ 国土交通省が行う「物流政策対話」、ワークショップ等への参加

国土交通省では、物流の課題に対する相互理解を目的としたアセアン各国との二国間による政府間対話、対象国の物流事業者の技能向上を目的としたワークショップ等を毎年開催しており、物流連も積極的に参加している。令和3年度は、9月に開催された「日フィリピン コールドチェーン物流」に参加した。

(4) 物流環境対策委員会関係

①令和3年度第1回物流環境対策委員会

開催日：令和3年9月9日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部【講演会】

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：54名（実参加：22名、オンライン参加：32名）
- ・講師①：国土交通省総合政策局 環境政策課長 松家新治氏
- ・テーマ：「国土交通グリーンチャレンジの取組について」
- ・講師②：河村商事株式会社 代表取締役社長 河村篤前氏
- ・テーマ：「7社連名での物流環境大賞受賞案件について」

第二部【委員会】

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：28名（実参加：18名、オンライン参加：10名）
- ・議題：
 - a. 令和3年度上期活動報告について
 - b. 令和3年度下期活動計画について

委員会では、上期の活動について、第22回物流環境大賞の表彰結果などが報告された。続いて、下期の活動について、第8回モーダルシフト最優良事業者賞（大賞）の表彰式を11月下旬に開催すること、国が2050年脱炭素社会の実現を目指すことを宣言したことを受け、物流業界における低炭素・脱炭素化の推進に資することを目的として、「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」を新たに立ち上げることなどが説明され、活動計画は原案通り承認された。

②第2回物流環境対策委員会

開催日：令和4年3月16日

委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部【講演会】

- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：68名（実参加：13名、オンライン参加：55名）
- ・講師①：鈴与株式会社運輸事業部長
兼 鈴与カーゴネット株式会社取締役営業本部長 澤入哲雄氏
- ・講師②：鈴与カーゴネット株式会社取締役フェリー輸送事業本部長 亀井遊太氏
- ・テーマ：「環境対策の取り組みについて」

第二部【委員会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：21名（実参加：13名、オンライン参加：11名）
- ・議 題：
 - a. 令和3年度下期の活動報告について
 - b. 令和4年度の活動計画（案）について

委員会では、令和3年度の活動報告があった後、次年度の活動計画として、第23回物流環境大賞、第9回モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰及び第21回グリーン物流パートナーシップ会議・表彰を継続実施し、講演会等を通じて表彰された優良事例の普及・促進に努めること、また、物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会については、引き続き国・産業界・有識者等による講演、参加企業・団体の取り組みについてのプレゼンテーション等を行う他、シンポジウム等の開催を検討することが提案され、原案通り承認された。

③第22回物流環境大賞

物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図るため、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰することとしている。なお、今回が、令和2年12月に表彰規程を改正してから初めての表彰となった。

- ・表彰式開催日：令和3年6月29日
- ・表彰式会場：第一ホテル東京

- a. 物流環境大賞
 - ・株式会社ベイシア/河村商事株式会社/株式会社日本アクセス/株式会社関東デ
イリー/南日本運輸倉庫株式会社/株式会社ケーター/昌和商事株式会社
- b. 低炭素物流推進賞
 - ・株式会社ランテック
 - ・株式会社メディセオ/日本貨物鉄道株式会社/日本フレイトライナー株式会社/
日本石油輸送株式会社
- c. サステナブル活動賞
 - ・株式会社ランテック
 - ・ユーピーアール株式会社/東レ株式会社
- d. 先進技術賞
 - ・プロロジス
 - ・株式会社日立物流
- e. 特別賞
 - ・SK-II / 滋賀工場(ピー・アンド・ジー株式会社)/濃飛倉庫運輸株式会社
 - ・日本パレットレンタル株式会社/サッポロビール株式会社/サッポログループ
物流株式会社/エバラ食品工業株式会社/株式会社エバラ物流

- ・日本通運株式会社
 - ・アサヒ飲料株式会社/日清食品株式会社/日本通運株式会社
 - ・JFE スチール株式会社/日本通運株式会社
 - ・株式会社クラブ/日本通運株式会社
 - ・山九株式会社/三井化学株式会社/旭化成株式会社
 - ・オリオン機械株式会社/センコー株式会社
 - ・日本梱包運輸倉庫株式会社/YKK AP株式会社
 - ・NEXT Logistics Japan 株式会社/アサヒグループホールディングス株式会社/
江崎グリコ株式会社/千代田運輸株式会社/トランコム株式会社/株式会社ニチ
レイロジグループ本社/日本梱包運輸倉庫株式会社/日野自動車株式会社/三菱
HCキャピタル株式会社/株式会社ユーネットランス
 - ・ネスレ日本株式会社/鈴与株式会社/鈴与カーゴネット株式会社
 - ・アイシン北海道株式会社/鈴与株式会社/鈴与カーゴネット株式会社
 - ・株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海（2件受賞）
 - ・株式会社住友倉庫
 - ・日鉄物産株式会社/株式会社住友倉庫
 - ・株式会社ロジスティクス・ネットワーク
 - ・F LINE 株式会社 業務本部 東日本ブロック 南関東支店 マルチモー
ダルサービスセンター
- f. 日本物流記者会賞
- ・浪速運送株式会社

④第8回モーダルシフト取組み優良事業者公表・表彰

モーダルシフトの促進に関し、物流事業者の自主的な取組みの奨励及び取組み意識の高揚を図るため、モーダルシフトを積極的に推進した優良な事業者を公表・表彰することとしている。

- ・表彰式開催日：令和3年11月25日
 - ・表彰式会場：海運クラブ2階ホール
- a. モーダルシフト最優良事業者賞(大賞)
- ・鈴与株式会社/鈴与カーゴネット株式会社
- b. 実行部門
- ・フェリックス物流株式会社/山九株式会社/日本石油輸送株式会社/日本通運株式会社
- c. 改善部門
- ・センコー株式会社
- d. 有効活用部門
- ・濃飛倉庫運輸株式会社/日本通運株式会社/佐川急便株式会社/株式会社ロジ
スティクス・ネットワーク/センコー株式会社/株式会社ランテック/株式会

社日立物流/明治ロジテック株式会社/全国通運株式会社

e. 新規開拓部門

- ・山九株式会社/株式会社サンキュウ・トランスポート・関西/株式会社日陸/
日産物流株式会社

⑤第20回グリーン物流パートナーシップ会議

平成17年4月に第1回会議を開催してから17年目となり、当年は20回目となる本会議を開催し、各賞の表彰を行った。

- ・開催日：令和3年12月15日
- ・会場：日経カンファレンスルーム（日経ビル6階）
- ・出席者：約100名
- ・主催：経済産業省、国土交通省、日本ロジスティックシステム協会、
日本物流団体連合会

⑥物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会

物流業界における低炭素・脱炭素化の推進に資することを目的として、11月から「物流分野における低炭素・脱炭素化推進に向けた情報交換会」を立ち上げた。今年度は、国・産業界・有識者等による講演、参加企業・団体の取組みについてのプレゼンテーション等を中心に計3回開催した。

*初回会合

- ・開催日：令和3年11月1日
- ・会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館4階 第2会議室

第一部【講演会】

- ・出席者：100名（実参加：18名、オンライン参加：82名）
- ・演題：「ESG経営と気候変動/カーボンニュートラル」
- ・講師：有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー
シニアマネジャー 奥村 剛史氏

第二部【会合】

- ・出席者：19名（実参加：14名、オンライン参加：5名）
- ・議事：a. メンバー紹介、今後の活動内容等についての意見交換
b. その他

*第2回会合

- ・開催日：令和4年1月31日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室

第一部【講演会】

- ・出席者：102名（実参加：15名、オンライン参加：87名）

- ・演 題：「自動車分野におけるカーボンニュートラルに向けた取組みについて」
- ・講 師：国土交通省自動車局安全・環境基準課 課長補佐(総括) 諸川 慎治氏

第二部【会合】

- ・出席者：21名（実参加13名：オンライン参加8名）
- ・議 題：a. 参加企業・団体の取組みについてのプレゼンテーション
b. 意見交換
c. その他

* 第3回会合

- ・開催日：令和4年3月8日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：26名（実参加：15名、オンライン参加：11名）
- ・議 題：a. 参加企業・団体の取組みについてのプレゼンテーション
b. 意見交換
c. 次年度の活動について
d. その他

⑦各種表彰事例の普及

物流環境大賞、モーダルシフト表彰（大賞）等を受けた優良事例について、会員各社における環境活動の普及・促進に資するため、講演会を開催して受賞事例の紹介等を行った。

⑧東京オリパラ期間中の物流効率化等に関する講演会を開催

会員への情報提供の一環として、東京オリパラの開催を翌月に控えた6月、東京都から講師を招いて、最新の大会輸送や交通情報、物流施策等に関する講演会を開催した。

- ・開催日：令和3年6月9日
- ・会 場：オンライン開催
- ・出席者：118名
- ・講 師：東京都オリパラ準備局輸送担当部長 松本 祐一氏
東京都港湾局港湾経営部物流企画担当課長 加藤 知幸氏

（5）経営効率化委員会関係

①令和3年度第1回経営効率化委員会

- ・開催日：令和3年9月3日
- 委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部【講演会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：68名（実参加：18名、オンライン参加：50名）
- ・講 師：国土交通省 大臣官房首席運輸安全調査官 木下 典男氏
- ・テーマ：「運輸防災マネジメント」

第二部【委員会】

- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室B
- ・出席者：26名（実参加：13名、オンライン参加：13名）
- ・議 題：
 - a. 令和3年度上半期 活動報告
 - b. 令和3年度下半期 活動計画

委員会では、事務局から、上期活動報告として、物流標準化調査小委員会におけるパレット等の標準化に関する調査検討の着手、ダイバーシティ推進WT（外国人材の活用）の活動報告の取りまとめ、新たな総合物流施策大綱に関するシンポジウムの開催等について報告が行われた。

続いて、事務局から、下期の活動として、パレット等の標準化に関する調査検討の継続、ダイバーシティ推進WTにおける女性の活躍推進に関する調査検討の着手等について説明が行われ、原案通り承認された。

②令和3年度第2回経営効率化委員会

- ・開催日：令和4年3月3日
- 委員会開催に先立ち、講演会を開催した。

第一部【講演会】

- ・会 場：霞山会館
- ・出席者：46名（オンライン開催）
- ・講演①：「人手不足を解決する物流自動化ソリューション」
講 師：株式会社Mujin 営業本部長 海野 義郎氏
- ・講演②：「パートナーシップ構築宣言の意義と宣言状況について」
講 師：中小企業庁 事業環境部企画課課長補佐 柴田 和也氏

第二部【委員会】

- ・会 場：霞山会館
- ・出席者：21名（実参加：8名、オンライン参加：13名）

- ・議 題：

- a. 令和3年度下半期 活動報告
- b. 令和4年度上半期 活動計画

委員会では、物流標準化調査小委員会における調査検討の経過報告、ダイバーシティ推進WT（女性活躍推進）における活動経過報告等を事務局から行った。

続いて、令和4年度活動計画について、前年度に引き続きパレット等の標準化に関する調査検討及び女性活躍推進に関する調査検討を行うこと、新たに高齢者の活躍推進に関する調査検討に着手すること、物流事業の安全に関する講演会を開催すること等の説明が事務局より行われ、原案通り承認された。

③物流標準化調査小委員会

国等の関係者で組織する「官民物流標準化懇談会」と連携協力して物流標準化を推進するため、国土交通省の参加を得て物流標準化調査小委員会（座長：東京女子大学二村真理子教授）を立ち上げ、“物流事業者側からみた”パレット等の標準化の現状と課題、方向性、効果等について調査検討を進めている。令和3年度は、小委員会が計4回開催され、アンケート調査、ヒアリング調査等を実施し、パレット利用の実態、課題等について、中間的な取りまとめを行った。

*第1回小委員会

- ・開催日：令和3年6月23日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：27名（実参加：21名、オンライン参加：6名）
- ・議題：a. 物流標準化の推進に向けた調査検討案について
b. 小委員会での取り組みについて

*第2回小委員会

- ・開催日：令和3年10月28日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：22名（実参加：16名、オンライン参加：6名）
- ・議題：a. アンケート結果報告、意見交換
b. 今後の予定
c. その他

*第3回小委員会

- ・開催日：令和4年1月27日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：計15名（実参加：13名、オンライン参加：11名）
- ・講演①：一般社団法人Pパレ共同使用会の取り組みについて

- 講師：一般社団法人Pパレ共同使用会 常務理事 平世哲雄氏
- ・講演②：パレット利用に関する一つの提言について
- 講師：日本パレットレンタル株式会社 主席研究員 永井浩一氏
- ・議題：a. 第2回パレット標準化推進分科会における論点
 - b. アンケート分析結果説明、要因分析について意見交換等
 - c. 今後の予定

***第4回小委員会**

- ・開催日：令和4年3月30日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：計13名（実参加：11名、オンライン参加：8名）
- ・議題：a. ヒアリング調査結果、令和3年度調査中間報告案
 - b. 第3回パレット標準化推進分科会における論点
 - c. 令和4年度活動予定案、および意見交換

④ダイバーシティ推進ワーキングチーム(女性の活躍推進)

本年度から、“女性の活躍推進”をテーマとするワーキングチーム（座長：東京女子大学二村真理子教授）を立ち上げ、物流事業者における現状と課題の把握、好事例の共有、グループ討議等を通じて、女性が個々の能力を最大限発揮できる組織、働き方、人事制度、意識改革、キャリアパスなど「ありたい姿」について調査検討を進めている。本年度は、ワーキングチームが計3回開催され、アンケート調査、講演の聴取、グループ討議等が行われた。

***第1回会合**

- ・開催日：令和3年10月13日
- ・会場：東京都立産業貿易センター浜松町館4階 第3会議室
- ・出席者：22名（実参加：6名、オンライン参加：16名）
- ・議題：a. 調査検討の内容と今後の進め方について
 - b. 物流業界における女性活躍の現状と課題について
 - c. 各社の現状、課題、WTへの要望等について
 - d. アンケート調査票案について
 - e. その他

***第2回会合**

- ・開催日：令和3年12月1日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室

第一部【講演会】

- ・63名（実参加：6名、オンライン参加：57名）
- ・演題：「改正女性活躍推進法の概要と企業の取組みについて」

- ・講師：厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課課長補佐 光永 圭子氏

第二部【会合】

- ・出席者：計23名（実参加：6名、オンライン参加：17名）
- ・議題：a. グループ討議（テーマ：物流業界の女性活躍の姿とは）
b. その他

*第3回会合

- ・開催日：令和4年2月7日
- ・会場：尚友会館8階会議室
- ・出席者：計19名（実参加：5名、オンライン参加：14名）
- ・議題：（1）アンケート調査結果報告（企業向け 従業員向け）
（2）グループ討議（テーマ：女性活躍のロールモデル創出について）
（3）質疑
（4）その他

⑤ダイバーシティ推進ワーキングチーム(外国人材の活用)

前年度に引き続き、外国人材の活用をテーマとするワーキングチームを計1回開催し、国土交通省との意見交換等を行うとともに、昨年度からの活動報告を取りまとめた。

*第4回ワーキングチーム会合

- ・開催日：令和3年5月13日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階中会議室
- ・出席者：17名（実参加：10名、オンライン参加：7名）
- ・議題：a. 国土交通省との意見交換、質疑応答
b. 活動報告（案）について

⑥外国人材の就労に関する勉強会

物流業界における外国人材の就労に向けて主に制度面の検討に資するため、会員団体、企業から成る「外国人材の就労に関する勉強会」を計1回開催した。

*第7回勉強会

- ・開催日：令和3年11月19日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階中会議室
- ・出席者：11名
- ・議題：a. 講演：「造船業における外国人材活用状況について」
講師：一般社団法人 日本造船工業会 企画部長 土谷 俊文氏
b. 質疑応答、意見交換ほか

⑦総合物流施策大綱に関するシンポジウムの開催

新たな総合物流施策大綱の主要施策の推進に資するため、国土交通省と連携してシンポジウムを開催した。

- ・開催日：令和3年6月15日
- ・会場：オンライン開催
- ・出席者：約170名

- ・基調講演：「2020年代の物流施策」

国土交通省公共交通・物流政策審議官 久保田 雅晴氏

- ・パネルディスカッション：

「2020年代の総合物流施策大綱に寄せる期待」

流通経済大学教授 矢野 裕児氏 他有識者5名

⑧「官民物流標準化懇談会」及び「パレット標準化推進分科会」への参画

新総合物流施策大綱の主要施策である物流標準化の実現に向け、産学官が連携して課題や推進方策の議論・検討を行う「官民物流標準化懇談会」が設置・開催され、物流連会長が構成員として参画している。

また、第1回懇談会の議論を受けて、先行的にパレット等の標準化について検討する「パレット標準化推進分科会」が設置・開催され、物流連も構成員として参画している。

⑨トラック輸送の取引環境・労働時間改善等を目指す「ホワイト物流推進運動」への参画

前年度に引き続き、国土交通省・厚生労働省の「トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会」及び「トラック運送業の生産性向上協議会」に、物流連も委員として参加している。

⑩「フィジカルインターネット実現会議」に参加

我が国における「フィジカルインターネット」の実現に向けたロードマップの策定を目的とする本会議に、物流連も委員として参加している。

⑪「多様な交通主体の交通ルール等の在り方に関する有識者検討会」に参加

前年度に引き続き、新たな小型モビリティの交通ルール等の在り方について検討する警察庁の有識者検討会に、物流連も委員として参加している。

⑫ 「行政ニーズに対応した汎用性の高いドローンの利活用等に係る技術検討会」に参加

活用が期待されているドローンの早期実装や、安全かつ迅速な災害対応、生産性の向上等を目指す本検討会に、物流連も委員として参加している。

2. 公益目的支出計画による事業活動

実施事業<継続事業>に関する事業報告

① <継続事業1> キャリア教育支援事業

大学生などが物流産業について理解を深める機会を提供するため、物流業界インターンシップを東京及び大阪において実施した（648名の学生が参加）

② <継続事業2> 物流関連調査・研究事業

調査・研究として、

- a. 主に陸のアセアン諸国を対象とする海外物流事情実態調査
- b. 物流標準化の推進に向けた調査検討
- c. 物流事業者における女性活躍推進に向けた調査検討

③ <継続事業3> 物流の環境対応に資する活動事業

22回目となる「物流環境大賞」については、6月に、26件、63社を表彰した。モータルシフト取り組み優良事業者を顕彰する制度については、最優良事業者(大賞)を始めとした複数の部門賞に関し、11月に、17件17社を表彰した。

「グリーン物流パートナーシップ会議」については、経済産業省、国土交通省、日本ロジスティクスシステム協会、日本経済団体連合会（後援）とともに、12月に、20回目の会議を開催し、各表彰を行った。

④ <継続事業4> 大学寄附講座

教育支援の一環として行っている大学寄附講座については、以下の3大学で実施した。

- ・青山学院大学 毎週月曜日（4月5日～7月19日）
- ・東京都立大学 毎週火曜日（4月6日～7月20日）
- ・横浜国立大学 毎週木曜日（10月7日～1月27日）

3. 広報・情報提供・出版事業等の活動

(1) 会員及び外部への情報提供等

①「物流連懇談会」の開催

物流連では、平成24年度から、会員への情報提供や会員相互の情報交換を定期的
に図る場として、年2回、物流連会員企業・団体等のトップ（代表者）を講師に招い
た講演会を午餐会形式で開催している。

第18回懇談会は、令和3年4月9日 学士会館にて、講師に東京九州フェリー株
式会社代表取締役である入谷泰生氏をお招きし、「長距離フェリーは現代の北前船か」
と題して開催した。参加者は65名。

第19回懇談会は、令和3年10月20日 学士会館にて、講師に日本通運株式会
社 代表取締役副社長である石井孝明氏をお招きし、「安心・安全な医薬品サプライチ
ェーンを目指して」と題して開催した。参加者は72名。

②「新年特別講演会」の開催

新型コロナウイルス感染防止の観点から取り止めた。

③「講演会」等の開催

各委員会等の開催に合わせて、物流連会員向けに、外部講師を招いた講演会等を以下
のとおり実施した。

テーマ①：「東京2020大会輸送に関わる検討状況について（物流環境対策委員会）」

テーマ②：「東京港における東京2020大会への取組について」

- ・開催日：令和3年6月9日
- ・会 場：オンライン開催
- ・出席者：118名
- ・講師①：東京都オリパラ準備局輸送担当部長 松本 祐一氏
- 講師②：東京都港湾局港湾経営部物流企画担当課長 加藤 知幸氏

テーマ：「運輸防災マネジメント」（経営効率化委員会）」

- ・開催日：令和3年9月3日
- ・会 場：全日通霞が関ビル8階会議室
- ・出席者：68名（実参加：18名、オンライン参加：50名）
- ・講 師：国土交通省 大臣官房首席運輸安全調査官 木下 典男氏

テーマ①：「国土交通グリーンチャレンジの取組について」（物流環境対策委員会）

②：「7社連名での物流環境大賞受賞案件について」

- ・開催日：令和3年9月9日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：54名（実参加：22名、オンライン参加：32名）
- ・講師①：国土交通省総合政策局 環境政策課長 松家新治氏
- ・講師②：河村商事株式会社 代表取締役社長 河村篤前氏

テーマ：「最近の物流政策について」（基本政策委員会）

- ・開催日：令和3年9月28日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：67名（実参加：12名、オンライン参加：55名）
- ・講師：国土交通省総合政策局物流政策課長 高田公生氏

テーマ：「ESG経営と気候変動/カーボンニュートラル」（物流環境対策委員会）

- ・開催日：令和3年11月1日
- ・会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館4階 第2会議室
- ・出席者：100名（実参加：18名、オンライン参加：82名）
- ・講師：有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザー
シニアマネジャー 奥村 剛史氏

テーマ：「改正女性活躍推進法の概要と企業の取組について」（経営効率化委員会）

- ・開催日：令和3年12月1日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：63名（実参加：6名、オンライン参加：57名）
- ・講師：厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課課長補佐 光永 圭子氏

テーマ：「自動車分野におけるカーボンニュートラルに向けた取組について」

- ・開催日：令和4年1月31日（物流環境対策委員会）
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：102名（実参加：15名、オンライン参加：87名）
- ・講師：国土交通省自動車局安全・環境基準課 課長補佐（総括） 諸川 慎治氏

テーマ①：「人手不足を解決する物流自動化ソリューション」（経営効率化委員会）

②：「パートナーシップ構築宣言の意義と宣言状況について」

- ・開催日：令和4年3月3日
- ・会場：霞山会館
- ・出席者：46名（オンライン開催）
- ・講師①：株式会社Mujin 営業本部長 海野 義郎氏

講師②：中小企業庁 事業環境部企画課課長補佐 柴田 和也氏

テーマ：「ヒューマンファクターの理解と安全性の向上」について

- ・開催日：令和4年3月11日 (人材育成・広報委員会)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：76名 (実参加：6名、オンライン参加：70名)
- ・講師：西日本旅客鉄道株式会社 常務技術理事 安全研究所所長 河合篤氏

テーマ：「環境対策の取り組みについて」(物流環境対策委員会)

- ・開催日：令和4年3月16日
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：68名 (実参加：13名、オンライン参加：55名)
- ・講師①：鈴与株式会社運輸事業部長
兼 鈴与カーゴネット株式会社取締役営業本部長 澤入哲雄氏
- ・講師②：鈴与カーゴネット株式会社取締役フェリー輸送事業本部長 亀井遊太氏

テーマ：「カーボンニュートラルとロジスティクス改革について」

- ・開催日：令和4年3月22日 (基本政策委員会)
- ・会場：全日通霞が関ビル8階大会議室
- ・出席者：約100名 (実参加：12名、オンライン参加：約90名)
- ・講師：流通経済大学流通情報学部教授 矢野裕児氏

④物流連「会報 (Grow)」の発行

会員との双方向の情報交換に努め、令和3年度には、年4回(6月、9月、12月、3月)発行した。

⑤ホームページを活用した情報発信強化

ホームページの会員専用ページを活用して、会員向けに講演会資料、各種報告書等の情報提供を実施し、会員への情報発信強化を図った。

⑥「物流連のご案内」

物流連の組織や活動を紹介する「物流連のご案内」をより分かりやすく編集し、作成した。物流業界関係者に向けたアピールや、会員・賛助会員の拡大などに活用している。

⑦「物流連30年の歩み」の発刊

創立30周年を迎え、令和3年6月に「物流連30年の歩み」を発刊した。

⑧メールマガジンによる情報発信

現在、物流連のメールマガジンは1, 370人強の配信登録があり、物流に関わる業界・行政等のニュースや各種統計情報、研修の案内等の情報発信を行っている。令和3年度も、概ね20日間隔で配信した。

(2) 出版事業

「数字でみる物流」の発行

2021年度版の物流担当者必携のポケットブック「数字でみる物流」を令和4年1月に発行した。これは、我が国の物流動向（国内物流、国際物流、輸送機関別輸送、貨物流通施設、フォワーダー、消費者物流、情報化等の動向）について、最新数値を使い、表・グラフ等にてわかりやすく詳細に解説したものである。

(3) 研修事業

実務講座の開催

下記テーマによる実務研修シリーズを計4回開催した。

- a. 「ロジスティクス入門講座」
令和3年9月1日 15名（会場：砂防会館）
令和3年3月4日 11名（会場：砂防会館）
- b. 「物流現場業務改善の実務」
令和3年9月15日 15名（会場：砂防会館）
- c. 「物流コスト管理入門講座」
令和3年3月10日 17名（会場：砂防会館）

(4) 物流EDI事業

下記の業務を行うとともに、関係者に情報提供を行った。

- ・物流EDI標準「JTRN」及び「物流XML/EDI標準」の維持管理
- ・ホームページ及び物流EDIセンターメルマガを通じての情報発信及び物流EDIの普及活動
- ・サプライチェーン情報基盤研究会等のEDI標準化団体との連携及び委員会への参加を通じた他業界との交流による普及活動
- ・流通業界のEDI標準推進団体である流通BMS推進協議会への参加
- ・RFID等EDI関連技術の情報収集と物流情報化への適用事例の検討

(5) サイバーセキュリティ関連

内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が支援する重要インフラ分野（NISCが指定する14分野）の業界で構成するセプターカOUNシル（重要インフラ14分野、19セプターで構成）に、物流セプター幹事として参加し、サイバーセキュリティに関する業界横断的な情報交換・情報収集を行っている。令和元年11月には、NISCが主催するサイバーセキュリティに関する分野横断的演習に国土交通省、物流事業者とともに物流セプター事務局として参加した。当演習には重要インフラ14分野19セプター約4,800名が参加した。

また、国土交通省が主導する交通ISACのWGの活動（物流、鉄道、航空各分野で構成）にメンバーとして参加し、サイバーセキュリティに関する情報共有化を推進した。

4. 総会・役員会等の開催状況

(1) 総会

①令和3年度 定時総会

- ・開催日：令和3年6月29日
- ・会場：第一ホテル東京4階「プリマヴェーラ」
- ・出席者：22名 委任状63名
- ・議題：【報告事項】令和2年度事業報告について
【第一号議案】令和2年度決算(案)について
【第二号議案】役員を選任を求める件について

(2) 正副会長会議

①第1回正副会長会議

- ・開催日：令和3年5月31日

(3) 理事会

①第1回理事会

- ・開催日：令和3年5月25日
- ・会場：海運クラブ 2階ホール
- ・出席者：19名
- ・議題：【第一号議案】令和2年度事業報告(案)について
【第二号議案】令和2年度決算(案)について
【第三号議案】役員候補者の選任について

【第四号議案】令和3年度定時総会の招集について

②第2回理事会（書面による）

- ・開催日：令和3年6月25日
- ・議 題：【第一号議案】役員候補者の選任について

③第3回理事会

- ・開催日：令和3年6月29日
- ・会 場：第一ホテル東京4階「フローラ」
- ・出席者：16名
- ・議 題：【第一号議案】会長、代表理事および業務執行理事の選定について

④第4回理事会

- ・開催日：令和3年11月25日
- ・会 場：オンライン開催
- ・出席者：15名
- ・議 題：
 - 【第一号議案】 令和3年度事業報告（4月～10月）（案）について
 - 【第二号議案】 「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について（案）」
 - 【第三号議案】 新規会員の入会について

⑤第5回理事会

- ・開催日：令和4年3月29日
- ・会 場：学士会館 320号室
- ・出席者：17名
- ・議 題：
 - 【第一号議案】 令和4年度事業計画（案）について
 - 【第二号議案】 令和4年度収支予算（案）について
 - 【第三号議案】 常勤役員に対する報酬等について
 - 【第四号議案】 新規会員の入会について

5. 会員の異動

会員種別	員 数		増減数
	3年度末現在	2年度末現在	
正会員(団体会員)	14	14	0
正会員(企業会員)	80	79	+1
正会員 計	94	93	+1
賛助会員	53	54	-1

Ⅱ. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定等

特記すべきことは無い。

Ⅲ. 事業報告の付属明細書について

事業報告書に詳細に記載したので、特記すべきことは無い。

以上

